

広報

# きたはりま119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり



vol.3

2013 SUMMER  
北はりま消防組合

# 消防長あいさつ

日頃より、消防行政につきましても、格別なるご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この北はりま消防組合は、消防庁の推進する消防広域化基本指針に基づき、兵庫県で最初の広域消防組合として平成23年4月に発足し、早2年が経過しました。合併前の旧消防本部では、出動要員に余裕がなく初動体制も必要最低限でしたが、合併後は市町隣接地への火災出動車両も増加し、署長又は現場指揮者の判断で即時に応援要請が可能となり、バックアップ体制が取れるようになりました。

平成26年度には各署の通信業務を統合し、高機能消防指令センターの運用を開始しますので、現場要員の充実、出動エリアの見直しによる現場到着時間の短縮も期待できます。近年は、北はりま管内でも災害が多様化しており、救急件数も年々増加しております。このような消防を取り巻く環境の変化に的確に対応するために、次の四つの施策を進めていきます。

- 一 消防、救急、救助の高度化を推進し、消防車両や施設の充実を図り、住民に信頼される消防体制の構築を目指します。
- 二 火災による死傷者や被害の軽減を図るために、積極的な予防

業務を進めます。

三 構成市町との連携を密にし、住民の防災意識の高揚を図り、災害に強い防災体制づくりを目指します。

四 広域における消防体制の整備及び充実強化を図り、強固で効率の良い組織づくりを目指します。

北はりま消防組合としましては、消防団や防火協会の協力を得ながら、これら施策の実行を通して、住民が安心して暮らせる地域社会を進めてまいります。

この「広報 きたはりま119」を通じて、北はりま消防組合の成長を少しでも発信できれば幸いです。これからも、当組合の消防業務になお一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

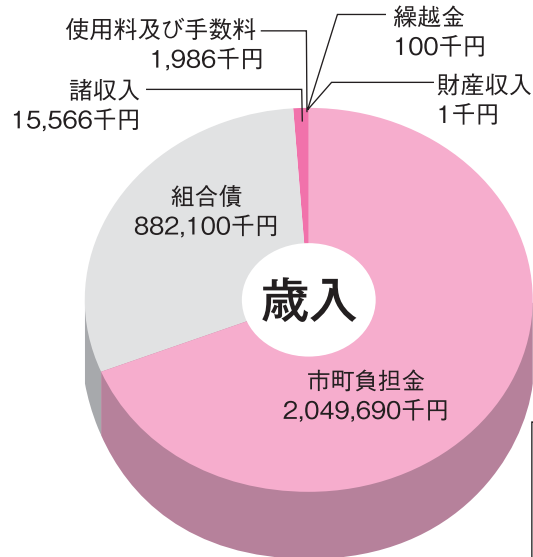
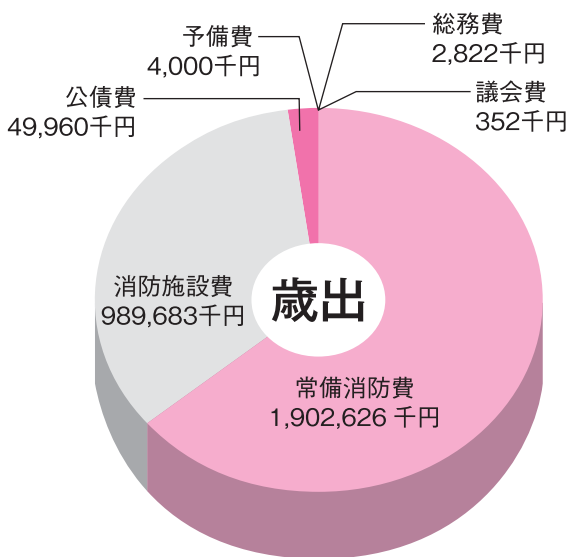
北はりま消防組合

消防長 岸本 耕一



## 平成25年度 予算の状況

予算総額 29億4,944万3千円



西脇市	475,820千円
加西市	643,942千円
加東市	603,288千円
多可町	326,640千円

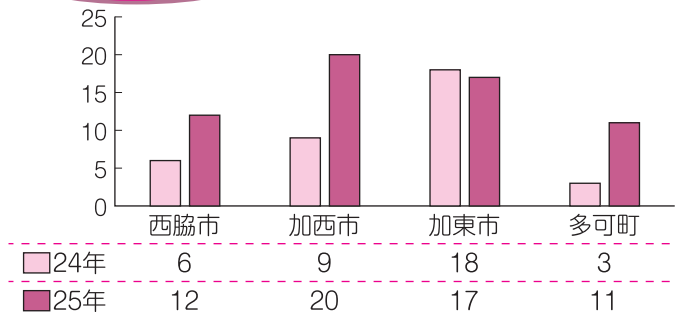
款	内容	金額	構成比
議会費	組合議会の運営活動費用	352千円	0%
総務費	組合全体の事務管理費用	2,822千円	0%
常備消防費	消防業務に係る費用(人件費含む)	1,902,626千円	64%
消防施設費	消防施設の整備費用	989,683千円	34%
公債費	借入金の返済費用	49,960千円	2%
予備費	臨時の支出に備えておく費用	4,000千円	0%

款	内容	金額	構成比
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,049,690千円	69%
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	1,986千円	0%
財産収入	基金の運用利子	1千円	0%
繰越金	前年度の繰越金	100千円	0%
諸収入	その他の収入	15,566千円	1%
組合債	消防施設整備のための借入金	882,100千円	30%

# 平成25年 上半期火災・救急・救助の実態 (1月1日～6月30日迄)

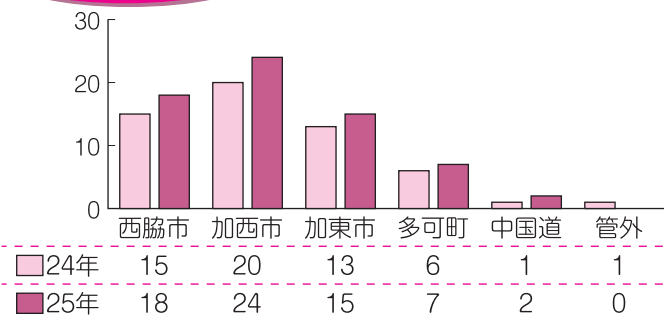


## 火災件数



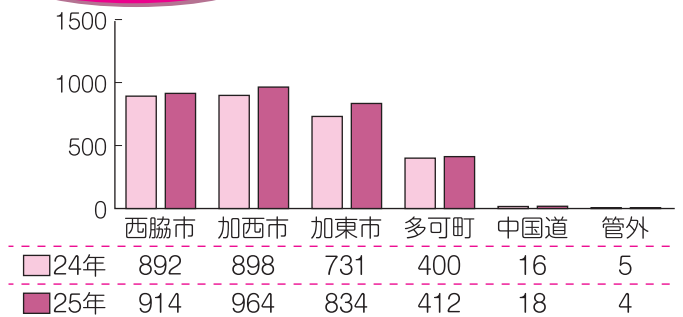
火災出動件数は60件（前年36件）で、昨年に比べ24件増加しました。

## 救助件数



救助出動件数は66件（前年56件）で、昨年に比べ10件増加しました。

## 救急件数



救急出動件数は3,146件（前年2,942件）で、昨年に比べ204件増加しました。

つけましたか!

設置は義務です!!

住宅用火災警報器  
が火事を未然に防いだ!

# 住宅用火災警報器

万が一のために、警報が鳴った時の正しい対処方法を知っておきましょう!



## 火災の時

- 大きな声で知らせましょう!
- 119番通報しましょう!
- 可能なら初期消火!
- 消せないときは避難しましょう!



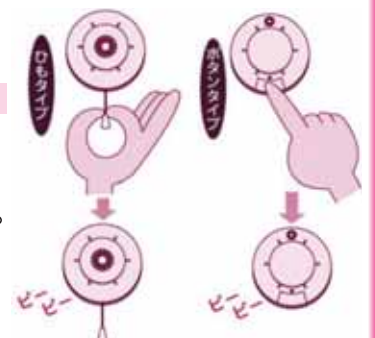
## 火災ではない時

- 火災ではないのに火災警報器が鳴った場合は、警報停止ボタンを押すか、ひき紐を引いて警報音を止めてください。



## ご注意ください!

- 火災警報器には交換時期があります。  
(最大10年を目安に火災警報器を交換することをおすすめします。)
- 機器によって電池の寿命は異なりますので、期間を確認しましょう。  
(定期的に点検を行い、維持管理を徹底してください。)
- くん煙式殺虫剤などを使用すると、警報が鳴ることがあります。  
(警報器を外すなどして、終了後は元の状態に戻してください。)



# トピックス

## 西脇消防署

### トライやる・ウィークの実施



救助隊員とのランニング

この5日間の体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感し、社会の一員としての自覚が高まったのではないかと思います。  
この経験が活かされ、将来、立派な社会人、さらには立派な消防士になってくれることを楽しみにしています。

この5日間の体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感し、社会の一員としての自覚が高まったのではないかと思います。

西脇消防署では、6月3日（月）～7日（金）の5日間、西脇市内4校から8名の中学生を受け入れ、職場体験を行いました。

子供たちは、訓練礼式、予防査察、消火・救助・水防訓練、応急手当など、五日間で消防署の通常業務を一通り体験しました。

救助訓練では、多可消防署で体験しているトライやる生7名も加わり、ランニング・ロープ結索・ロープ渡りといった訓練を実施しました。

厳しい訓練の中、くじけそうになりながらも、最後には全員がロープを渡りきる事ができました。

### 西脇消防署 署内合同訓練の実施

西脇消防署では、月に1回、署内1・2係合同で訓練を実施しています。合同訓練は主に、西脇消防署の庁舎及び訓練塔を使用します。

訓練内容は、火災対応・特殊災害、集団救急、といった様々な災害対応訓練を実施し、大規模・特殊災害においても迅速・確実で連携のとれた対応ができるよう訓練に取り組んでいます。



救助訓練でロープ渡り



水防訓練で土のう積み



建物火災想定訓練

## 加西消防署

### 新入団員訓練



4月21日、消防団部長・新入団員水防訓練及び機関員講習では、新入団員等に基礎的な訓練や土のう作製等を消防職員が指導を行いました。

4月21日、

### 訓練礼式大会



6月30日、市内12分団による訓練礼式大会が開催され、指揮者の号令に従い団員が行進等の基本動作の正確性を競いました。

### トライやる・ウィークの実施



6月3日から5日間、市内4中学校の2年生8名が、トライやる・ウィークで加西消防署を訪れ様々な業務を体験しました。

### 災害に向けた救助訓練



いつ発生するかもしれない災害に備え、迅速、確実に連携のとれた対応ができるよう、日々訓練に励んでいます。

# 消防署

## 加東消防署



人形を使用した実技訓練



スライドを使った座学

### 新任教員救命講習の実施

加東消防署では、6月21日(金)兵庫県立教育研修所で実施されている平成25年度高等学校初任者研修受講者を対象に、心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の使用方法を習得する講習会を実施しました。

この講習は、教員が緊急時に対応できる事を目的に実施し、平成25年度に採用された県立高等学校等の新任教員270名が参加しました。

講習では、胸骨圧迫・人工呼吸の心肺蘇生法の説明と、救急車が到着するまでに現場に居合わせた者が連携して行うAEDを用いた心肺蘇生法について、訓練人形を使用して実技を2時間行いました。

参加者は、熱心に受講されており、応急手当に対する正しい知識・処置方法を身につけ、緊急時には、迅速かつ適切な応急手当が実施され、良好な結果が得られると感じました。

### 消防署見学(米田小学校)

平成25年5月16日(木)加東消防署に、米田小学校4年生10名が社会科見学に訪れました。

主に、消防車両、消防設備、通信指令室等の見学を行いました。

児童全員が、消防車両に夢中で、『火事の際は何人出動するのか』『勤務形態はどうなっているのか』など、多くの質問が出ました。この見学を通じて、消防署の仕事内容や火災の恐ろしさ、防災への理解を深める事ができたと思います。さらには将来、北はりま消防の一員として一緒に働ける事を楽しみにしています。



救助工作車の見学

## 多可消防署

### 消防署・消防団の連携

### 救命講習

消防団は、普段は働きながらも災害が起きると「自分のまちは自らで守る」と強い意志を持ち、火災の消火活動や水防活動を行っています。

多可消防署では、地域に密着した消防活動が行えるよう、老人ホームの火災を想定した消防団との合同訓練や洪水、土砂災害等を想定した消防団員対象の水防訓練の指導など、消防署と消防団が協力して「安全・安心 多可のまち」の実現に向けて取り組んでいます。

また、多可町消防団では、消防団員の消防技術の向上と土気の高揚を図るために、消防操法大会を毎年開催しています。多可消防署は、消防操法の指導と大会の審査をして、消防団の活動を支援しています。

多可消防署では、一般住民対象の定例講習会以外に、事業所や各種団体の要請で救命講習を実施しています。救命講習では、訓練人形と訓練用AEDを事業所等に持ち込み、心肺蘇生法や応急手当、AEDの使い方指導しています。

平成25年度では、社会福祉施設や公共施設、消防団や婦人会からの要請で、救命講習を実施し、心肺蘇生法等を指導しています。



消防署・消防団合同消防訓練



消防操法大会



中区消防団 水防訓練



救命講習



## 消火器・住宅用火災警報器の不適正な取引にご注意!

最近、消火器や住宅用火災警報器の不適切な訪問販売等による被害が発生していますので、被害にあわないよう十分注意して下さい。

また、事業所のみならず一般家庭においても消防署から依頼されて来たように装い、販売や点検を行っておりません。消防署では、点検、販売の依頼等は行っておりません。



### 「不適正取引の手口」(消火器編)

☆「法律が改正されました。」「一般家庭にも設置義務があります。」

☆「消防署からあっせんを受けて来ました。」

☆「点検期限が過ぎています。」「薬剤の詰替えが必要です。」

☆「一般家庭にも消火器の設置が義務化されました。」「今すぐ設置しないと罰せられます。」



### 「不適正取引の手口」(住宅用火災警報器編)

☆「警報器をつけないと、罰金、罰則があります。」

☆「警報器は全ての部屋につけなくてはいけないので、今回は安く販売します。」

☆「消防署から許可をもらって販売しています。」「今回は無償で取り付けます。」

☆「警報器の点検に来ました。」



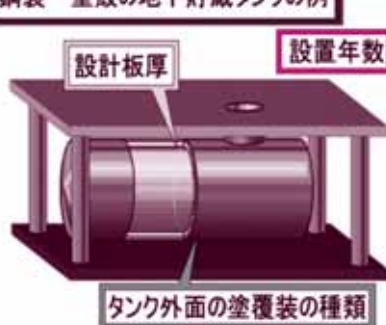
## 古くなった地下貯蔵タンクについて

近年多発している、危険物を貯蔵する地下貯蔵タンクからの流出事故を踏まえ、危険物の規制に関する規則等の一部が平成22年に改正されました。

改正の内容は、直接埋設された鋼製一重殻タンクのうち、設置から40年を経過した地下貯蔵タンクについては、設置年数、塗覆装の種類及び設計板厚等による区分に応じて、腐食の防止を図る等の措置が必要になりました。

今後、該当する地下貯蔵タンクを所有されている事業所にあつては、必要な措置を講じられ、危険物流出事故防止を図りましょう。詳しくは、消防本部又はお近くの消防署危険物係にお問い合わせください。

### 鋼製一重殻の地下貯蔵タンクの例



## 救急救命士の病院実習にご協力を!



### 一人でも多くの救える命を救うために

現在、心臓や呼吸が停止している傷病者に対して救急救命士が行う救命処置範囲が拡大され、一定条件を満たす救急救命士に対して、気管挿管(気管内チューブという器具を用いた気道確保)が可能となっています。

### 病院実習にご協力をお願いします

万が一、あなた自身や愛する家族・友人の身に不慮の事態が発生した場合、救急現場や救急車で救命処置を行うのが救急救命士です。

この救急救命士が行える気管挿管のためには、病院での実習が必要です。

患者の皆様の同意のもとに麻酔科指導医の管理下で行われる救急救命士の病院実習にご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、患者様が実習にご協力いただけなくとも、今後の治療で不利益になることは全くありませんので、申し添えます。



実習協力病院：西脇市立西脇病院

## 水の事故には注意!

子供にとって楽しみな夏休みがやってきました。夏休みと言えば、魚釣りや水泳などたくさんのお楽しみが子供たちを待っています。



しかし、水辺には危険がひそんでいます。河川などで遊ぶ時は、次のような事に注意しましょう。

### ～命を守る4つのポイント～

- ① 川に近づく時は、水の深さ・流れ等に十分気をつけましょう。
- ② 雨で濁った川・堰(せき)には近づかないようにしましょう。
- ③ 子供だけでは、絶対に川遊びはしないようにしましょう。
- ④ 増水の前兆を感じたり、警報が鳴れば直ちに避難しましょう。





# [9月9日は救急の日です]

救急の日  
救急医療週間

平成25年9月9日(月)  
平成25年9月8日(日)~9月14日(土)

住民のみなさんに救急業務や救急医療に対して正しい知識と理解を深めていただくことを目的としています

## 「救急に関する様々なイベント」

- ・救命講習会の開催
- ・優良救急隊員表彰
- ・救急隊員教育研修会
- ・広報活動（パンフレットの配布、ポスターの掲示）

# [イオンモール加西北条店にてイベント開催]

- ・神戸市消防音楽隊による演奏
- ・加西市ゆるキャラ「ねっぴー」来場

日時：平成25年8月31日(土) 午後1時30分~午後3時

会場：イオンモール加西北条店  
2階モール中央エレベーター前付近

内容：イベント  
神戸市消防音楽隊による演奏  
加西市ゆるキャラ「ねっぴー」との写真撮影  
普及啓発用グッズ配布



全国大会を目指し頑張りました！

## 第42回 消防救助技術近畿地区指導会

レスキュー隊員が技術を競い合う大会が今年も開催され、北はりま消防からは三十名の隊員が大会に参加しました。

日時 7月26日(金)

午前10時~

場所 兵庫県広域防災センター

(三木市)

出場種目

- ・はしご登はん訓練
- ・ロープ応用登はん訓練
- ・ほふく救出訓練
- ・ロープ渡過訓練
- ・ロープブリッジ救出訓練



加西消防署  
(消防ポンプ自動車)



西脇消防署  
(高規格救急車)



消防本部  
(指揮支援車)

## 平成24年度に6台の新車両が整備されました



多可消防署  
(査察広報車)



加東消防署  
(指揮支援車)



加西消防署  
(現場指揮車)

# 消防救急無線のデジタル化及び 高機能消防指令センターの進捗状況

消防救急無線については、電波法関係審査基準の改正により、平成28年5月末までに現行のアナログ方式をデジタル方式に移行する必要があります。

北はりま消防組合では、高機能消防指令センターを消防本部（加東市役所滝野庁舎内）に設置し、消防救急無線のデジタル化の整備と併せ、平成26年度に運用開始を目指しています。

## 《消防救急無線のデジタル化事業》

平成26年度中の運用を目指し、緊急車両等と通信を行うための無線基地局を管内に9箇所整備します。

現状は5箇所の基地局（共通波系）の設置が完了し、残り4箇所（活動波系）は今年度中に設置を完了する予定です。

## 【共通波系】

共通波とは、都道府県

共通波と全国共通波があり、大規模災害等が発生した場合に他の消防組織と連絡をとるための無線です。

共通波系は整備が完了しており、平成25年4月1日から西脇消防署で運用しています。また、消防本部で高機能消防指令センターを運用開始する平成26年度からは、当該指令センターに再接続して運用を行います。

## 【活動波系】

活動波系は、北はりま消防組合に割り当てられる消防救急用の無線です。



消防救急無線基地局

## 《高機能消防指令センター改修事業》

### センター改修事業

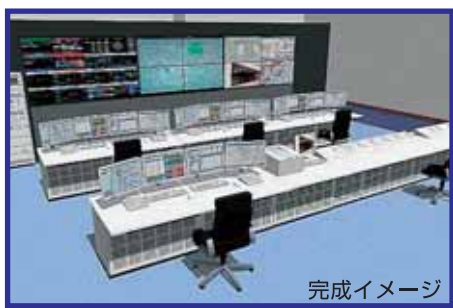
平成24年度に消防本部庁舎の一部を改修する指

令室の設置工事は完了しており、今年度中に指令装置等の納入を行います。

《高機能消防指令センター事業》  
今年度中に工事を完了させ、平成26年度中に運用を開始します



現行



完成イメージ

## 新任職員

### 消防学校入校中！

平成25年4月に8名の職員を採用し、現在兵庫県消防学校に初任教育生として派遣しています。4月から9月までの約6ヵ月間、消防業務に必要な知識、技術を習得するため、日々訓練に励んでいます。初任教育が終了すれば、十月からは一人の消防隊員として、北はりまの各消防署へ配属します。



▲空気呼吸器操法



▲三連梯子取扱訓練



▲兵庫県消防学校



▲大教室での座学

## 夏休み子供教室参加者募集

- ◆とき 8月20日(火)午後1時30分から午後5時(雨天決行)
- ◆ところ 西脇消防署(西脇市野村町1796の502)
- ◆対象者 小学生先着20名(保護者と一緒でも参加可能)
- ◆体験内容 消防署の見学、はしご消防車体験乗車、通報訓練、初期消火訓練など(天候により内容の変更あり)
- ◆受付期間 8月6日(火)から8月9日(金)まで
- ◆※定員になり次第締め切ります
- ◆申込先 西脇消防署予防係・広報担当 梅田
- ☎0795(22)0119
- 受付期間中の午前10時から午後5時まで

## 消防職員募集

- 募集人数 10人
- 試験日時 9月22日(日) 午前8時30分
- ところ 西脇消防署
- 内容 筆記試験、体力試験
- 受付期間 8月1日(木)～8月14日(水)
- その他
  - ・受験資格、申込方法など詳しくは試験案内をご覧ください。
  - ・試験案内は、北はりま消防本部、各消防署にあります。また、ホームページからもダウンロード可能です。

問合せ先 北はりま消防本部総務課

☎0795(48)3115  
http://www.kitaharimat19.net